

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和3年度分）

施設	名称	栃木市そのべ児童館
	所在地	栃木市菌部町2丁目14番9号
	施設内容	児童厚生施設
指定管理者	名称	社会福祉法人 栃木市社会福祉協議会
	所在地	栃木市今泉町2丁目1番40号
	主な業務内容	地域福祉事業・介護保険事業・障害者自立支援法に基づく事業

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	利用案内掲示数			6か所	6か所		
	利用者アンケート数			100件	104件		
	利用者意見反映数			2件	2件		
	イベント開催で「満足」「ほぼ満足」			80%	100%		
	業務改善数			3件	0件		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅱ	0.8	20	Ⅱ	0.8	20
指定管理者コメント	<p>①施設の設置目的に基いた管理運営方針を明文化し、事務室内に掲示しました。管理運営方針は職員会議等で確認し、職員の理解を深めました。 また、職員に事業計画書を配布した上で周知し、全員が運営方針を理解して業務に携わりました。</p> <p>②利用者への利便性に配慮し、出入口等に開館時間や休館日等の案内を掲示しました。また、低年齢の子どもにも理解できるよう配慮した内容で、掲示板に利用上の約束事などを掲示し、更に貸し出し用のおもちゃについても分かりやすく写真付きで利用方法等を掲示するなど、利用者の立場に立った使いやすい施設作りを心がけ実践してきました。 階段や踊り場には、楽しい雰囲気ので児童館に誘導できるよう、飾り付けを行ないました。 また、高齢の利用者が少ないという短所を解消するべく、その世代に向けた事業を行うなど、幅広い年齢を対象とした事業を総合的に計画し実施しました。</p> <p>③アンケートの結果から「満足」「やや満足」と回答した利用者は、イベント開催について100%と、利用者から大変ご満足をいただきました。 また、アンケートでいただいたご意見や、日頃から利用者とのコミュニケーションを取る上でいただいたご意見について、内容を精査検討しスピード感を持って改善等の対応をしました。</p> <p>④アンケート以外にも館内に利用者意見箱を設置し、広く利用者の意見を募ると同時に、ご意見・苦情については迅速に対応する姿勢をとりました。</p>						
施設所管課コメント	<p>・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を十分に理解し、職員の努力により利用者から感染者を出すことなく適正な運営が実施できたものと理解します。</p> <p>・利用者アンケートでは、利用者満足度が100%と高い評価を受けており、イベント内容の充実、職員の利用に対する対応の良さが確認できます。また、利用者意見箱の設置などの工夫もされており、今後も継続して施設の魅力を発信し運営に当たっていただきたい。</p>						

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み						
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか				
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか				
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値		
	平成30年度を基にして5年間で300人増の利用者数		7,200人	4,322人		
	記事の掲載回数		25回	32回		
	児童館だより発行部数		2,450部	2,450部		
	新規事業数		6回	6回		
	協働事業数		2回	0回		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	III	0.6	12	III	0.6
指定管理者コメント	<p>①令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により通常の事業展開ができませんでした。特にまん延防止等重点措置が発出された令和3年8月1日から9月30日までは施設内の運動禁止や休館などの対応となりました。また、再度開館してからも新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から利用者の居住地に制限がかけられたり、イベントに人数制限を設けるなどの措置が取られました。その結果、指定管理中の利用者拡大の目標を、平成30年度の実績から5年間で利用者300人増と設定して施設の運営を行ないましたが、利用者数は大幅の減となり目標を達成することができませんでした。しかし、利用者数は伸びませんでした。施設・備品等の消毒の徹底、空気清浄機やオゾン発生機の使用、入場制限や換気等による三密の防止など、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した事業等を行うことができ、施設内で感染者の拡大等は確認されず、環境に合わせた施設の運営はできたと思います。</p> <p>②市内全世帯に配布される広報とちぎ等に行事案内等を掲載し、本会ホームページにも行事案内等を掲載するなど、広い周知を心がけました。また、利用制限解除されたかどうか確認の内容等を本会ホームページ等でお知らせし、利用促進に取り組みしました。</p> <p>更に、毎月児童館だよりを発行（年間延べ2,450部）し窓口や公共施設等で配布を行いました。</p> <p>③新規利用者増加に向けた事業として、たくさんの行事等を企画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止になったり、内容を変更して実施するなど年度計画の変更を余儀なくされました。そんな中で、新規事業が6回、既存の事業も新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮して内容を変更するなどして行ないました。</p> <p>④協働事業等について、世代間交流を目的に、併設の老人福祉センター長寿園との連携事業を検討しましたが、長寿園は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1年を通して利用に制限がかかり、団体等の活動にも制限があったため、事業の実施はできませんでした。栃木第六地区コミュニティ推進協議会主催の第六コミュニティまつりへの協力につきましては、前年度に引き続きイベント自体が中止になりました。</p>					
施設所管課コメント	<p>・令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により休館や感染症対策のための利用制限により、事業計画どおりの運営ができませんでした。そのような中でも、新規事業の実施や既存事業の内容変更により、前年度より利用者数が増加できたことは評価できます。今後も感染症対策に十分注意し充実した事業の実施を希望します。</p>					

(3) 施設経費の削減の取組み						
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか				
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか				
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか				
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか				
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値		
	事務経費総額（実績値はテラス修繕費用を除いたもの）		236,782円	408,641円		
	事務経費削減額（実績値はテラス修繕費用を除いたもの）		7,103円	-171,859円		
	事務経費削減率（実績値はテラス修繕費用を除いたもの）		3.00%	-72.50%		
	施設修繕数		2回	5回		
	廃棄物の減量（牛乳パック、ペットボトル、新聞紙の使用回数）		10回	15回		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	15	Ⅲ	0.6	9	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	<p>①指定管理料の収支手続きを適正に行いました。</p> <p>②職員は常に経費削減を心がけ、節電・空調管理に努めました。トイレ・水道の水漏れ等の簡易な修繕は、長寿園職員と協力し職員が実施しました。</p> <p>事業に使用する工作物等の材料に、そのままではゴミとして廃棄する牛乳パック、ペットボトル、新聞紙等を積極的に使用するなどエコ対策に取り組みました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みから、利用者等が触れるものは使い捨てになる傾向が見られました。そんな中で、ぺたぺたひろば（子供が手形・足形を取る）で使用するエプロンを新聞紙で作成し、資源のリサイクルに努めました。</p> <p>③備品管理台帳の見直しを定期的に行ないました。また、施設点検報告書を作成し、四半期ごとに結果を市に報告しました。</p>					
施設所管課コメント	<p>・新型コロナウイルス感染症対策として、他人との接触を避けるため、再利用等の仕組みに基づく経費節減が難しい中で、意識的に事業の中で工夫し資源のリサイクルに取り組んでいることは評価できます。継続して環境に配慮し事業を実施していただきたい。</p> <p>・事務経費削減は成し得なかったが、業務上必要な経費であったと判断します。</p>					

（４）施設の管理を安定して行うための取組み							
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③	職員の福利厚生は充実しているか					
	④	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
	⑤	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	人員配置数		4人		5人		
	報告書期限内提出		100%		100%		
	研修会参加者数		4人		延べ7人		
	館長会議参加回数		4回		6回		
	常勤職員 1 週間の平均勤務時間数		40時間		38.75時間		
評価	配点	第 1 次評価（指定管理者評価）			第 2 次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅲ	0.6	12
指定管理者コメント	<p>①総括責任者に、防火管理者及び社会福祉士等を有する者を配置して施設全体の把握に努め、安全管理を徹底しました。その他の職員は、保育士や幼稚園教諭等の資格を持つ「児童の遊びを指導する者」を配置しました。職員は、総括責任者・嘱託職員が常勤、臨時職員2名が非常勤勤務、臨時職員1名（無資格）常勤となりました。常勤の臨時職員（無資格）採用となりましたが、児童館の運営上支障がないよう勤務を行いました。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの研修会が中止や変更になるなど参加が困難な状況が続きましたが、オンラインによる災害研修や地域力強化推進事業研修の受講を行ない、職員の資質の向上に努めました。また、朝礼において、緊急時の対応方法を研修するなど、緊急時における職員体制の強化に努めるとともに、不測の事態に備えました。</p> <p>③健康保険料、厚生年金保険料、各種税金について滞納はありません。</p>						
施設所管課コメント	<p>・施設の管理運営安定のため、無資格者ではあるものの職員を増員して業務の充実を図ったものと考えます。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症に大きく影響される中でも、より充実した運営ができる体制作りに努めていただきたい。</p>						

（5）施設の安全対策、危機管理体制の取組み							
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	定期安全点検実施回数		12回		12回		
	非常通報装置の保守点検		1回		1回		
	児童安全共済制度の加入		100%		100%		
	事故発生件数		0件		0件		
	消防訓練等実施回数		2回		2回		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①毎日の館内、月1回の施設全体の点検を行い安全管理を徹底しました。 また、来館する子どもたちに理解しやすいようにイラスト入りで約束事を掲示しました。</p> <p>②緊急時の対応方法を定めた危機管理マニュアルや消防計画を作成し、職員に周知徹底を図りました。 消防設備・防火対象物においては、とちぎ西部生きがいセンターとして年2回の点検を実施し、更に児童館内にある非常通報装置の点検を実施しました。また、施設の管理瑕疵に係る児童安全共済に加入し、不測の事態に備えました。</p> <p>③毎月1日に避難経路・消防設備の確認等を行いました。 本施設は複合施設であるため、老人福祉センター長寿園、第六地区コミュニティセンターと合同で消防避難訓練を実施し、職員等が万が一の際の避難経路や避難の手順について確認することができました。なお、消防訓練時、新型コロナウイルス感染症の影響で施設内に利用者等が少なかったため、参加者数が少なくなっています。</p> <p>④個人情報は、本会個人情報保護規程に基づいた管理方法で適正に処理しました。</p>						
施設所管課コメント	<p>・施設管理については、適正に行われているものと理解できます。</p> <p>・突然の地震等の災害に対応できるよう、合同訓練等を通じて有事の際は万全の体制で避難誘導できる力を身に付けていただきたい。また新型コロナウイルス感染症のような目に見えない危機への対応も必要となることから、情報収集等含め安全対策に万全な対応をされるようお願いしたい。</p>						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	20	20	
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	12	12	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	9	12	
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	12	12	
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	12	16	
評価点合計	100	65	72	
総合評価		C (可)	B (良)	

第3次評価 (選定委員会評価)	
選定委員会コメント	

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

◀ 別紙 ▶

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	令和2年3月期	令和3年3月期	令和4年3月期
資産総額	1,970,659,890	1,906,373,129	1,983,652,461
売上高	878,123,933	873,947,307	825,285,169
経常利益	-75,756,815	-43,364,759	-82,602,966
当期利益	-75,042,296	-44,559,175	39,099,727
経常収支比率	92.1%	95.3%	90.9%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和2年3月期	令和3年3月期	令和4年3月期
経常費用	957,211,747	919,267,844	910,352,088
経常収益	881,454,932	875,903,085	827,749,122
経常収支比率	92.1%	95.3%	90.9%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

令和3年度における本会全体の財務状況は、人件費や事務費を始めとする経常費用を削減することができましたが、介護・障がいサービスの収益減がそれを上回り、経常利益及び当期利益の赤字幅が前年度より増加する結果となりました。繰越金があることから組織全体の運営に支障はありませんが、引き続きコスト削減と収入源の確保に取り組み安定した経営基盤づくりを目指します。